

2021. 3. 5 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位
大阪科学・大学記者クラブ加盟社 各位
草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

災害からの復興や災害への備えについて、わたしたちにできることを考える

東日本大震災追悼企画「いのちのつどい」開催

日時：2021年3月11日（木）14:15～18:00（オンライン）

立命館災害復興支援室（室長：建山和由理工学部教授）は、3. 11追悼企画「いのちのつどい」を開催いたします。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年はオンラインでの開催となります。

学校法人立命館は、東日本大震災発生の翌月にオール立命館による支援窓口「災害復興支援室」を設置し、5万人の児童・生徒・学生・教職員、40万人の校友のフットワークとネットワークを通じて、大規模・広域・複合型の災害における復興・被災者支援に取り組んでいます。東日本大震災については、2012年から毎年「いのちのつどい」と題し、復興支援の現状や活動を通して感じたことを発信する場を設けています。

震災から10年の節目を迎えた今年の「いのちのつどい」では、追悼式典に引き続き、在学中に災害復興支援に関する活動を経験した卒業生が当時と現在の思いを語るとともに、在学学生・有識者を交えて「いのちをつなぎ、つながりをつむぐためにできること」と題したシンポジウムを開催します。

直接触れ合うことが難しいいま、予測が難しい未来に向けてわたしたちは互いにどうつながりあい、何を学び取ることができるのか。シンポジウムでは、オンラインで若い世代の声を集めて意見交換が行われます。一般の方にもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしています。

記

日時：2021年3月11日（木）

14:15～14:50 追悼式典（YouTube 配信）

16:00～18:00 シンポジウム（Zoom ウェビナー配信）

場所：オンライン開催

申込：事前 Web 申込 <https://ws.formzu.net/fgen/S41371208/>

参加費：無料

内容：別紙プログラムをご参照ください。

主催：立命館災害復興支援室 <http://www.ritsumeit.ac.jp/fukkor/>

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先 ※取材をご希望の場合は前日までにご連絡ください。

立命館大学広報課 担当：中嶋

TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumeit.ac.jp/>

別紙

■「いのちのつどい」プログラムについて ※内容は変更になる場合がございます。

•14:15～14:50 追悼式典

- 14:15～ ご挨拶 仲谷善雄 学校法人立命館総長／立命館大学学長
建山和由 立命館災害復興支援室室長
- 14:30～ 追悼の時 学生による追悼の言葉に代えて 立命館大学モダンジャズバレエ部
- 14:46～ 黙とう
- 14:50 終了

•16:00～18:00 シンポジウム「いのちをつなぎ、つながりをつむぐためにできること」

(1)キーノートスピーチ

「東日本大震災から、立命館はどのようなコミュニケーションを生み出し続けてきたのか
—コロナ禍の今だからこそ、振り返るべきこと—」

〔スピーカー〕 サトウタツヤ 立命館大学総合心理学部教授

(2)トークセッション

「3.11 の経験と学生時代の私、今の私」

〔登壇者〕 立命館大学卒業生より、以下の3名が登壇予定。

- ・清水大地 文学部文学研究科修了
学生団体での活動の他、福島風の風評被害払拭のプロジェクトを企画し生協食堂で実施。
- ・原田奈実 産業社会学部卒業
毎月11日の3.11月命日に開くごはんやさん「きっかけ食堂」を在学中に京都で開始。
- ・岩瀬功樹 理工学部研究科修了
在学中、岩手県宮古市の被災集落に仮設集会所を建設するプロジェクトでリーダーを務める。

(3)指定討論

「いのちをつなぎ、つながりをつむぐためにできること」

〔話題提供〕 天野和彦 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授
立命館大学学生、トークセッション登壇卒業生、識者で行います。

Zoom ウェビナーのチャット機能を使って参加者のみなさんからの質問も受け付けます。

< 昨年の様子 >

